

【 臨床技能試験対策講座 】

外国の医学部を卒業した医師は、必ず、厚労省が実施する「日本語診療能力調査」に合格する必要があります。患者様の診療方法は、全世界同じではありません。基本的技術は同じですが、診療技法は各国のお国柄が反映されます。

日本では、患者様に対する失礼のない敬意を持った診療方法が特に求められ、これを「医道」と言います。日本の医学生は、この診療技法を学び、模擬患者を使った厳しい臨床技能試験に合格しなければ、臨床実習に進むことはできません。

外国の医学部を卒業した医師も、日本で医療を行う以上は、この「医道」に乗っ取った診療技術を取得しておく必要があるため、本試験が実施されることになっていると考えられます。本講座は、皆様がそれぞれの国で教育された診療技術を、日本の診療に適した形に修正することを目的としています。

「日本語診療能力調査」は聴診器持参で模擬患者を用いて行われます。試験内容は、厚労省のホームページをご確認頂きたいと思いますが、何ら準備もせずに卒業した国の診療技法で面接試験に臨むのではなく、日本の「医道」を少しでも知って頂いた上で試験に向かわれるよう、手助けをしたいと我々は考えております。

本講座の主要部分は以下の通りです。

1. 患者様からの病歴聴取の仕方の獲得
メディカルインタビューのポイント
2. 診察方法の手技獲得
全身診察、頭部頸部診察、胸部診察、腹部診察の所見の取り方、など
3. 所見の取り方の技能獲得
触診・聴診方法。血圧測定。採決・採尿方法など
4. 患者記録記載方法の理解
5. 診断、治療への議論の進め方の理解力養成
6. 今後、予想される出題形式の変化に対応する講義・実習
OSCE 対策、臨床診察ロボットを用いた診察など

※本講座は藤林学園本科対象者受講講座です。（公開講座ではありません）